

【国】「資質・能力」の育成
生きる力、学びのその先へ

【県】有徳の人づくり
誰一人取り残さない教育の実現

【市】優しく、強く、愛しい人
失敗や間違いを恐れない子、疑問を言える子

学校教育目標

心豊かに たくましく

重点目標

よく考え 自分から やってみる

南っ子に願う姿

正しい判断力
よりよいものを求めて自分で考える

挑戦する力
失敗しても前向きに考える

他者意識・社会性
みんなのことを考える

南っ子に育みたい資質・能力

主体的に考える力

心づくり部

安全安心であたたかな学校
自己肯定感・自己有用感・
自己指導能力の育成

【特別活動】

- 子供主体の活動の推進
- ・「だいきち」あいさつのレベルアップ
 - ・異学年交流の充実(カッコいい上級生)
 - ・自分を含めた「みんな」を意識した活動
 - ・あたたかな集団づくり

【生徒指導】

- 「自己指導能力の育成」
- ・子供の人権を意識し、主体性を尊重した教職員のかかわり
- 「あたたかな人間関係づくり」
- ・挑戦する時間、場の保障、互いに認め、励ます
- 「多文化共生を意識した活動」
- ・UDで誰もが生活しやすい、活躍できる環境づくり
 - ・不登校や課題に対してチームで対応

★学校生活のいろいろな場面で
よく考えている 85%
(外国につながる児童 80%)
★目標や課題に向かってやってみる 85%

第Ⅲステージ

ありがとう

「人・もの・こと」と自分のかかわりを振り返り、感謝の気持ちを表す。

南っ子アンケート

第Ⅱステージ

チャレンジ

自他ともに成長するために必要なことを考え、挑戦する。

南っ子アンケート

第Ⅰステージ

協力

よりよい学級・学年・学校をめざして、みんなと協力して行なう。

かかわり

学びづくり部

確かな学力の定着
「主体的に考える力」を
大事にした授業

【研修推進】

- 子供が自分から解決したいと思える課題や問いの設定(単元構想)
- ・子供が見通しをもてる単元を貫く問い
 - ・子供が考え続け、考えが深まる学習過程。
 - ・教員がUDの三要件(視覚化・焦点化・共有化)を意識した授業

【学びの基礎】

- 子供の土台作り～聞く・話す力の育成～
- ・南っ子タイム(朝学習)の充実
 - ・語彙力を高め、思考力につなげるための取組
 - ・子供が聞く力・話す力を育てるための取組
 - ・子供がICTを有効活用するための取組
 - ・教員が通級・外国につながる子供担当と連携した個別最適な学びの推進
 - ・チームで子供を支援

特別支援教育の充実…子供一人一人の教育ニーズに寄り添った支援
ひまわり・ことは、まなび・ともだちルーム・すべての教室で

【ウェルビーイング】

あたたかく、笑顔あふれ、支え・高め合う教職員

- ・チームとして、向きをそろえて共通理解・共通実践
- ・お互いに支え・高め合う教員集団
- ・子供たちが考える以上に、教職員が考える
- ・子供と共に学び続ける教職員

コミュニティ・スクール(学校応援団づくり)

- ・日々の教育実践、子供のよさの発信
- ・地域の力を教育力に活用
- ・保護者、地域への対応(迅速・親切・丁寧・誠実)
- ・教育相談の積極的実施

内にひらく — 連携・協働し 信頼される学校 — 外にひらく